

英語版ルールガイドについて

すぐに必要

- ・23時を超えても観察し続けたいという外国人がいる。
(23時までとするルールを理解してもらいにくい)
- ・協力金をもらいながらも、レクチャーは外国語に対応できない現状でいいのか疑問。
- ・島を訪れる外国人は確実に増加している(次ページ参照)

すぐには必要ない

- ・ウミガメ観察会において外国人利用客は増加しているのか、どのくらいの外国人利用客がいるのかは不明。
- ・ルールが毎年変更されるような現状で、そのたびにルールガイドを変更するのは時間や経費が無駄になる。
- ・ルールガイドの英語版だけで問題が解決されるかは不明。

方針案

- ・現在掲載している英語版ポスターには、「観察会は23時まで」の標記がないため、来年度はポスターの改訂で対応する。
- ・観察会で外国人利用客の状況を把握してから、英語版ルールガイドが必要なのか検討する。
- ・白谷雲水峡やヤクスギランドの例と変わらず、ウミガメ観察会においても外国人の数は一定あると感じられる。なんらかの対応が必要である。

【参考】自然休養林を利用する外国人利用客の推移（地域別）

資料4-2-1

※屋久島レクリエーションの森保護管理協議会より

人数(人)

5000

4000

3000

2000

1000

0

アジア

ヨーロッパ

北米

オセアニア

中南米

中東

その他

- ・ここ数年、外国人利用客の増加がみられる。
- ・特にアジアからの利用客が多い。
- ・その次にヨーロッパ、北米と続く。

■ 23年度

■ 24年度

■ 25年度

■ 26年度

■ 27年度

